

会議結果報告書

1	会議名	戸別収集実験事業に関する説明会（小出地区）
2	日時	令和7年2月9日（日）14:00～15:00
3	場所	小出地区コミュニティセンター
4	出席者	（資源循環課）森岡課長補佐、八幡主事 （環境事業センター）富田所長、高橋技能労務副主任 （小出地区）参加人数：28人
5	内容	<p>資料に基づき、戸別収集実験事業に関する説明会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 戸別収集実験事業の対象品目は、燃やせるごみだけか。 → そのとおりである。燃やせないごみや資源物は、これまでどおり出していきたい。 ● 芹沢地区内で堤に住んでいる方だけが使用することになる集積場所ができることになるが、どうしたら良いか。 → 芹沢地区内の燃やせるごみの集積場所で収集することも可能であるが、個別に調整させていただく。 ● 近所に外国の方がいるため英語だけでも良いので、外国語版の戸別収集実験事業ガイドブックを作成していただきたい。 → ご要望のとおり作成する。 ● 令和7年度に実施予定のアンケート調査は、実施開始後どのくらい経過してから実施するか。 → アンケート調査は、皆さまが戸別収集に慣れごみ出しが安定した時期に実施することを考えている。 ● 令和8年度に戸別収集を継続となった場合、燃やせるごみだけなのかその他の品目も対象とするか。 → 令和8年度以降の取り組みについては、令和7年度の社会実験の検証結果によって決める。現時点において、対象品目を拡大するかは判断できない。 ● 戸別収集の効果が地域ごとに異なった場合、今後の進め方も地域ごとに異なることはあるか。 → そのような進め方で、進めていく可能性もある。 ● 里山公園の近くに住んでおり、集積場所に里山公園に来られた方がごみを捨てているということがある。燃やせるごみは戸別収集となるが、それ以外の品目はこれまでどおりであり集積場所が残るため、里山公園に来られた方にポイ捨てをされてしまう可能性がある。その時は、どのように対応をすれば良いか。

- 個別に環境事業センター業務担当で対応をさせていただくため、環境事業センター業務担当までお問い合わせいただきたい。
- 収集日にごみを出さない場合、それを分かるようにした方がよいか。
- ごみが出ているか出ていないかで判断をするため、その必要はない。
- 戸別収集は、各戸にパッカー車が止まってごみを回収し収集していくため、効率が悪くなり時間もかかる。このように収集していくということか。
- 道路状況にもよるが、概ねそのような方法で収集していく。
- ごみ収集は、8時30分から開始するか。
- 8時30分以降に収集を開始する。
- 戸別収集においても、誤って出してしまったものへ啓発シールを貼られるか。
- 誤った出し方をされたものに対しては、啓発シールを貼らせていただく。
- 費用と人手の問題によって戸別収集をやめている自治体が増えているというニュースを見た。茅ヶ崎市は、費用と人手の問題も考えたうえで、戸別収集の実施を検討しているか。
- 今回の戸別収集の社会実験では、本市で戸別収集を実施した場合に必要な収集車両台数やそれらに応じた人員や費用を確認し、戸別収集の実施の可否を検討していく。
- 藤沢市との市境に近いところに住んでおり、風が強い日などはポリバケツの蓋が飛んでいるということがある。蓋が外れるものにおいては、収集時に蓋が外れないようにしていただけるか。
- 収集以前の状態に戻し次の排出場所に移動することを考えているため、蓋が閉まっていれば、蓋を閉めて蓋が外れないようにしていく。
- 収集されなかった場合、どこに相談したら良いか。
- 環境事業センター業務担当までご相談していただきたい。
- 収集していただけなかったものについては、当日回収していただけるか。
- 状況によるかと思うが、可能な限りその日中に対応する。
- 自分が出したごみ箱に、通りすがりにポイ捨てされてしまった場合、どこに相談したら良いか。
- 環境事業センター業務担当までご相談していただきたい。
- 収集時間についてあらかじめ分かれば教えていただきたいのだが、現在調整中だということなので、実際に始まってから、収集時間はいつ頃定まってくるか。

→ 4月上旬においては収集時間が前後してしまう恐れがあるが、中旬以降には収集時間が一定になると見込んでいる。

● 戸別収集におけるボランティア清掃ごみの取り扱いはどのようになるか。

→ ボランティアごみの出し方は変更ないが、自治会等で清掃活動をされて多量にごみが発生した場合については、環境事業センター業務担当までお問い合わせいただければ、排出場所の調整をさせていただく。少量の場合は、個人で出していきたい。

● 夏に自治会で草刈りをして発生する雑草は、集積場所にまとめて置き、環境事業センター業務担当まで連絡すれば、回収していただけるか。

→ 作業をされる前に、まず環境事業センター業務担当までご連絡いただきたい。事前に情報をいただければ、排出場所の調整などができ、回収もスムーズに行うことができる。

● 戸別収集がごみの減量化のメリットとしてあげられているが、先行自治体では、どの程度の効果が表れているか。

→ 全国的に見ても戸別収集という収集方法はマイナーな収集方法であり、加えて戸別収集だけでごみの減量効果がどの程度あるか比較調査が行うことができていないという実情であるが、葉山町では、約10%のごみの減量効果があったと報告されている。

● 対象品目である燃やせるごみというのは、生ごみだけではなく紙ごみなども対象であるか。

→ 「そのとおりである。

以上